

令和7年度 進行管理・評価シート
会津若松市歴史的風致維持向上計画（令和5年6月19日認定）

■進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1）

計画の策定体制 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）

立地適正化計画、景観計画及び屋外広告物条例との連携 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）

1 歴史的建造物に関する事業 3~6

2 歴史的な街なみ、景観に関する事業 7~20

3 歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用
に関する事業 21~27

4 伝統行事や伝統技術等の伝統文化に関する事業 28~30

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）

文化財の保存・活用の現況と今後の方針等 31~35

⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）

「道の駅 旅案内」まちづくり特集 36

⑥その他（効果等）（様式1-6）

歴史まちづくり計画に関連する事業等の情報発信 37

■法定協議会等におけるコメントシート（様式2） 38

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度
計画の策定体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 計画の策定については、会津若松市建設部都市計画課、まちづくり整備課、教育委員会文化課、観光商工部観光課を中心に立案を行い、まちづくり団体や観光ビューロー、建築士会で構成される「会津若松市歴史的風致維持向上計画推進協議会」との協議により計画(案)を作成し、パブリックコメントによる市民意見の聴取を経て、計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○会津若松市景観審議会に対して、歴史的風致維持向上計画の関連事項に関する協議・報告等を行った。
 ・令和7年度第1回景観審議会(令和7年5月22日)「景観形成に関する検討部会の設置」等
 ・令和7年度第2回景観審議会(令和7年11月4日)「景観施策に関する情報発信の検討結果」等
 ・令和7年度第3回景観審議会(令和8年3月26日)「歴史的建造物に対する支援制度の検討結果」等
 ○各種協議等の効率化を図るため、庁内におけるチャット機能を活用して令和5年に作成した「歴まちチャットグループ」について、関連部署(観光商工部観光課、教育委員会文化課、建設部まちづくり整備課、都市計画課)の担当職員24名が登録し、「山鹿素行生誕地周辺整備」、「地域の観光資源充実のための環境整備推進事業」等、計25件の協議、照会、情報共有を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

○引き続き景観審議会との情報共有を図っていく。
 ○各種案件の情報共有等が図られており、人事異動等も踏まえて今後も継続して対応していく。

状況を示す写真や資料等



令和7年度第3回景観審議会



歴まちチャットグループ

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
重点区域における良好な景観の形成に関する施策との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 立地適正化計画、景観計画及び屋外広告物条例との連携

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観重点地区において既存不適格となっている屋外広告物について、会津若松市屋外広告物適正化推進事業により是正を図った。

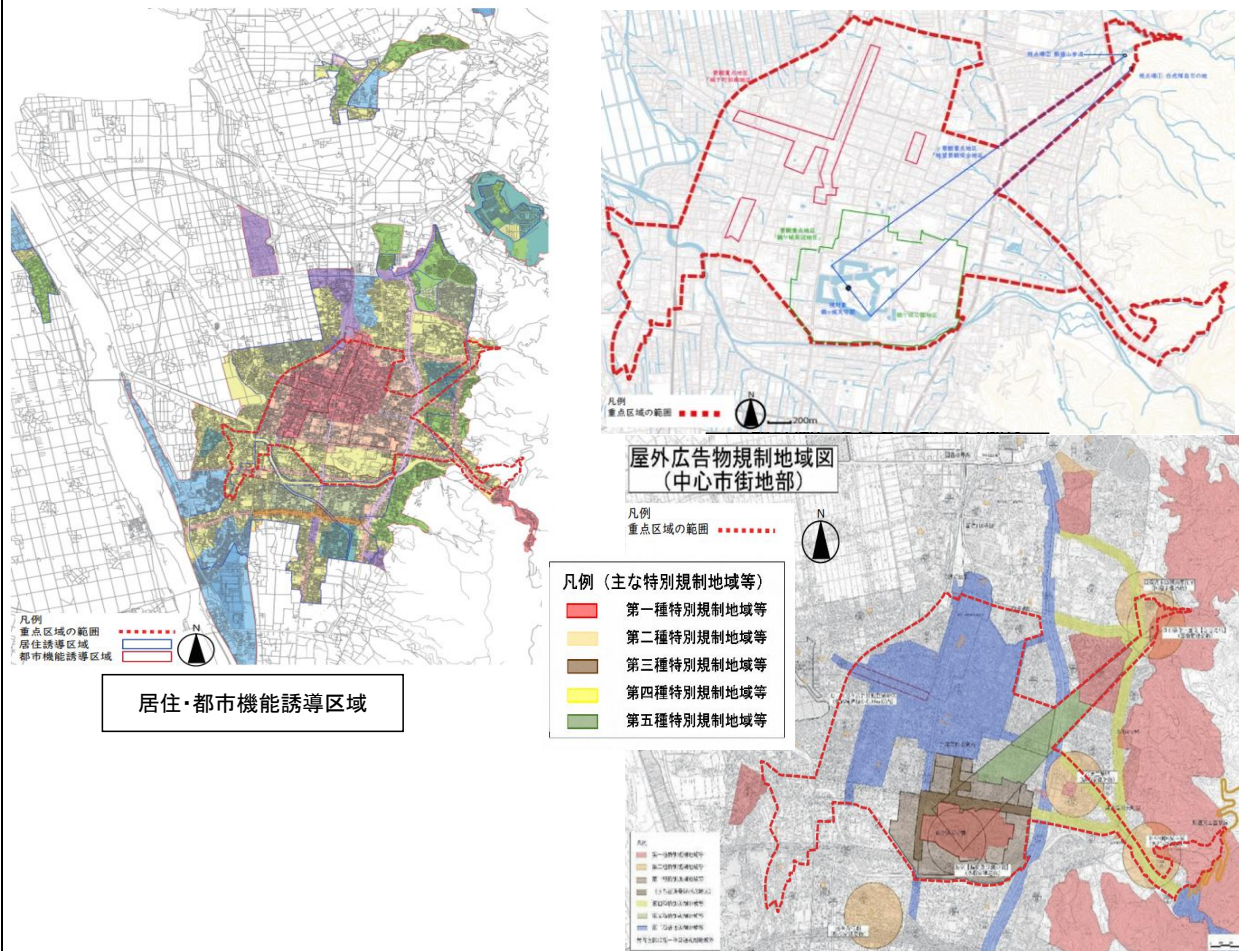
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・令和6年度に実施した調査により、事業候補地の選定及び事業手法の検討を行い、中心市街地活性化計画や駅前都市基盤整備事業等と連携を図りながら、令和7年度から事業実施に当たっての推進体制の整備等について検討していく。
・既存不適格となっている屋外広告物の是正に向け、所有者等への働きかけを引き続き行っていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (1)歴史的建造物に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

歴史的建造物保存活用マッチング支援事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致維持向上計画に位置付ける歴史的風致形成建造物を中心として、歴史的建造物を「誰かに使ってほしい」、「利活用を図りたい」と考える所有者と、「使いたい」、「出店したい」と希望する方の想いをマッチングし、修景支援等を行うことで歴史的資源である建造物の保存・活用を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度に引き続き、歴史的風致形成建造物の指定候補物件所有者のニーズ等を把握するためのアンケート調査実施に向けた検討を行い、特定の所有者より参考となる意見を聴取することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

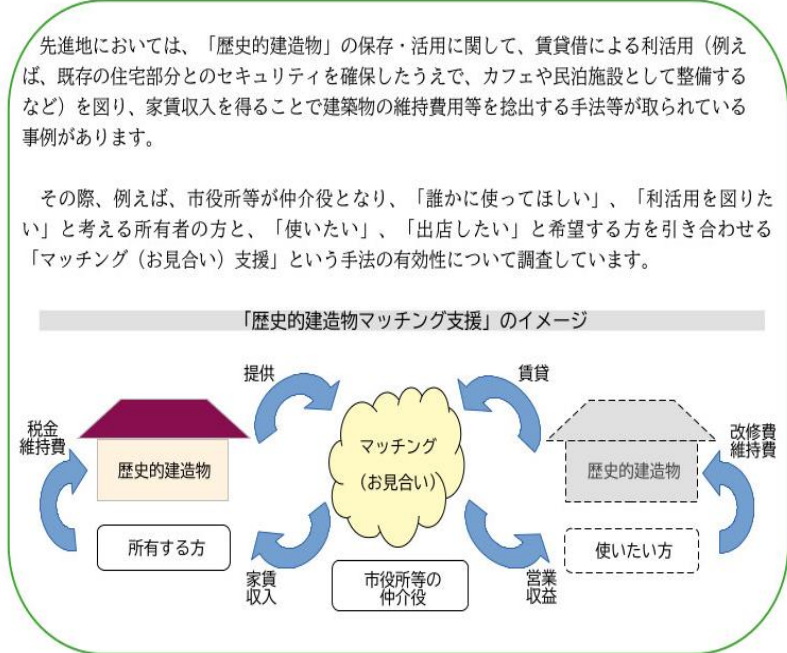
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物の利活用の必要性に対する全体的な合意形成は図られているものの、一部の所有者について更なる機運の醸成が必要となっている。関係団体との意見交換等を踏まえて令和8年度中にアンケート調査を実施する。

状況を示す写真や資料等

- 第1回景観審議会(令和7年5月22日)
 - 第1回景観施策(情報発信)検討部会(令和7年5月22日審議会終了後)
 - 第2回景観施策(情報発信)検討部会(令和7年7月3日)
- 第2回景観審議会(令和7年11月4日)
 - 第1回景観施策(建造物支援)検討部会(令和8年3月11日)
- 第3回景観審議会(令和8年3月26日)



マッチングのイメージ

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (1)歴史的建造物に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
歴史的建造物調査等ヘリテージ事業			
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に残る歴史的建造物について、調査を希望する方を募集し、一定の要件を満たす物件を中心として調査を行います。重点区域内における歴史的風致形成建造物指定候補物件の拡充を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
福島県歴史的建造物保全活用促進協議会(事務局 公益社団法人 福島県建築士会)の主催する、令和7年度ヘリテージマネージャー育成講習会の講師対応を通じて、本市における歴史的建造物の現状について情報を発信するとともに、意見交換を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		関係団体との意見交換を踏まえて令和9年度中の着手を目指す。	
状況を示す写真や資料等			
			
講習会の状況			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (1)歴史的建造物に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

歴史的建造物整備支援事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に残る歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、その保存・整備を促進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民間の所有する歴史的建造物等の保存・活用を図っていくための支援制度のあり方について、景観審議会において検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和9年度からの制度運用開始を目指し、令和8年度も継続して検討を行う。

状況を示す写真や資料等

(他市の事例・試算)

プロジェクトにかかった費用

土地と建物の購入代	： 約 1,500万 円
建物の再生費用	： 約 1,600万 円
合計	： 約 3,100万 円
10年返済 テナント家賃年間約300万円として...	

建物再生費用：約1,600万円

国からの支援額：▲	800万円	(新たな補助事業 補助率1/2 直接補助)
市からの支援額：▲	300万円	(景観助成事業 外観修景200万円+断熱・防水化工事100万円)
所要額：約	500万円	
クラウドファンディング：▲	200万円	?
自己負担額：	300万円	?

他市の事例を元にしたリノベーションに対する試算

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (1)歴史的建造物に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
歴史風致維持向上計画整備方針策定事業			
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史まちづくり計画に定める、民間の所有する歴史的建造物等の修景整備等に関する基礎調査を行い、建造物単体の整備方針をまとめ、まちづくりの事例や、活用事例等を用いて、ソフト面も含めた総合的な整備方針書(ガイドライン)を策定します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度に行った地元の建築士会(福島県建築士会会津支部)との協議により、「関係団体を巻き込んだ議論の場が必要」との結論に至ったことから、令和6年度の景観審議会委員の改選時に選出団体の見直しを行うことで協議の場を整え議論を行ってきた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		歴史的建造物の利活用に関して関係諸団体との連携が求められることから、令和8年度も継続して意見交換を行う。	
状況を示す写真や資料等			
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 視察対応時に整備方針の策定等に関する意見交換を行った </div>			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 鶴ヶ城(若松城)周辺にあり、施設の機能移転や老朽化から、利活用や更新を検討すべき公共施設について、その将来の方向性について示した鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想を平成22年(2010)8月に策定しました。対象施設は、会津学鳳高校跡地、会津図書館、市役所庁舎等であり、この構想を踏まえながら各種施設の事業化について検討しています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

構想に位置付けられた6つの公共施設のうち、会津学鳳高校跡地を除く5つの施設については、利活用が進められている。
 なお、会津学鳳高校跡地の追手町第二庁舎については、行政課題解決に向けた暫定的利用として、企画調整課統計グループ、市民協働課及び環境共生課の執務室等として利用している。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 会津学鳳高校跡地を含む鶴ヶ城周辺のあり方について検討を行うため、部局横断的に庁内プロジェクトチームを設置した。プロジェクトチームでの議論等を踏まえ、今後、官民連携を進めながら、将来的な活用に向けた計画の策定等を検討していく。
--	--

状況を示す写真や資料等



鶴ヶ城(若松城)西出丸に隣接する
会津学鳳高校跡地

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
温泉地域活性化推進事業			
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	温泉地域の旅館協同組合及び観光協会が行う共同事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、東山温泉及び芦ノ牧温泉地域(以下「温泉地域」という。)の活性化並びに観光振興を促進することを目的とします。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
温泉地域における宿泊者数 【平成30年】706,542人 【令和元年】688,143人 【令和2年】450,207人 【令和3年】380,989人 【令和4年】537,617人 【令和5年】621,254人 【令和6年】676,283人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	温泉地域の活性化に向け、温泉街の魅力向上を図っていく必要があることから、今後も温泉街が取り組むイベント等の開催や温泉街の環境整備などの事業について支援していく。		
状況を示す写真や資料等			



◀東山温泉観光案内所が改装・リニューアルオープン
市温泉地域景観創造ビジョンに基づき改装され、カフェスペースも新たに併設。温泉地域の街歩きの手掛点としてオープンしました。



◀芦ノ牧温泉三十三観音堂の整美
市温泉地域景観創造ビジョンに基づき、三十三観音堂の整美が行われました。

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

城前団地建替事業

支援事業名 地域居住機能再生推進事業

計画に記載している内容 鶴ヶ城周辺地区内という立地を踏まえ、景観重点地区の景観形成基準に基づき、意匠、形態、彩色や高さなどに配慮した計画とし、城前団地建替事業を実施しています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・城前団地の建替戸数は240戸を計画しており、R6年度で104戸の建替えが完了している。(進捗率43.3%)
- ・R7年度は、第K5棟(鉄筋コンクリート造3階建て24戸)が竣工した。

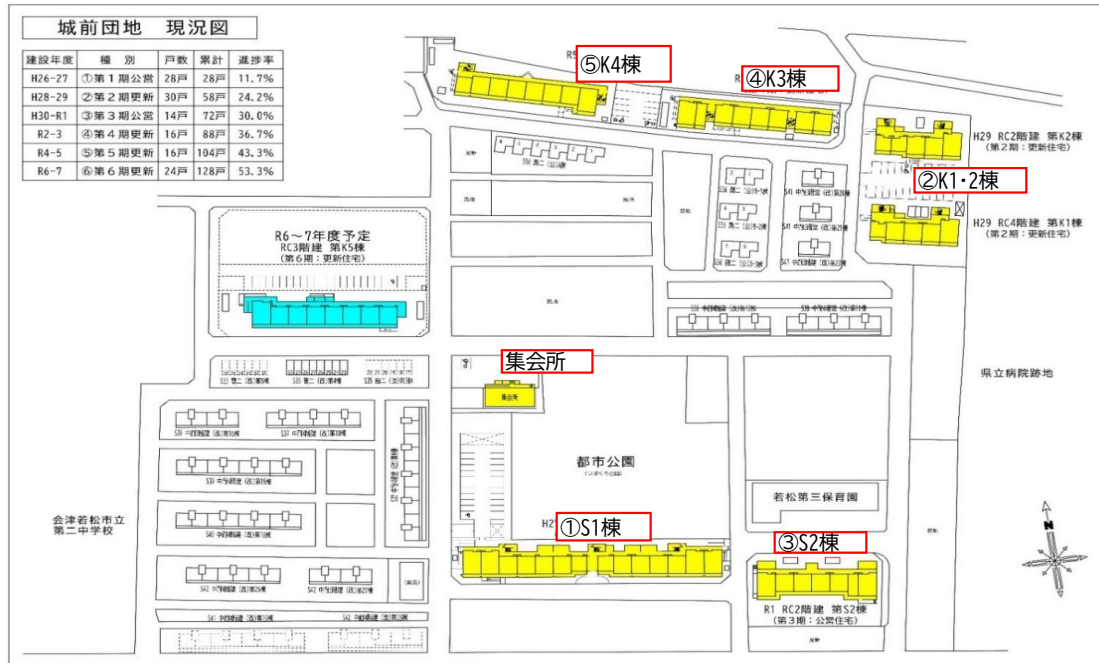
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

建替計画に基づき、周辺の公共施設や町並みとの調和を図るため、建物の意匠、形態、色彩などに配慮した計画としている。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

支援事業名 藤室鍛冶屋敷線歩道整備事業

支援事業名 街路事業/都市構造再編集中支援事業

計画に記載している内容 鶴ヶ城に通じる主たる都市計画道路である藤室鍛冶屋敷線において、狭隘で劣化の激しい歩道の整備や、緊急輸送路として新設電柱を抑制する占用制限措置を行うとともに、無電柱化をはじめとする整備事業を検討、実施し、ウォーカブルな街づくりを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

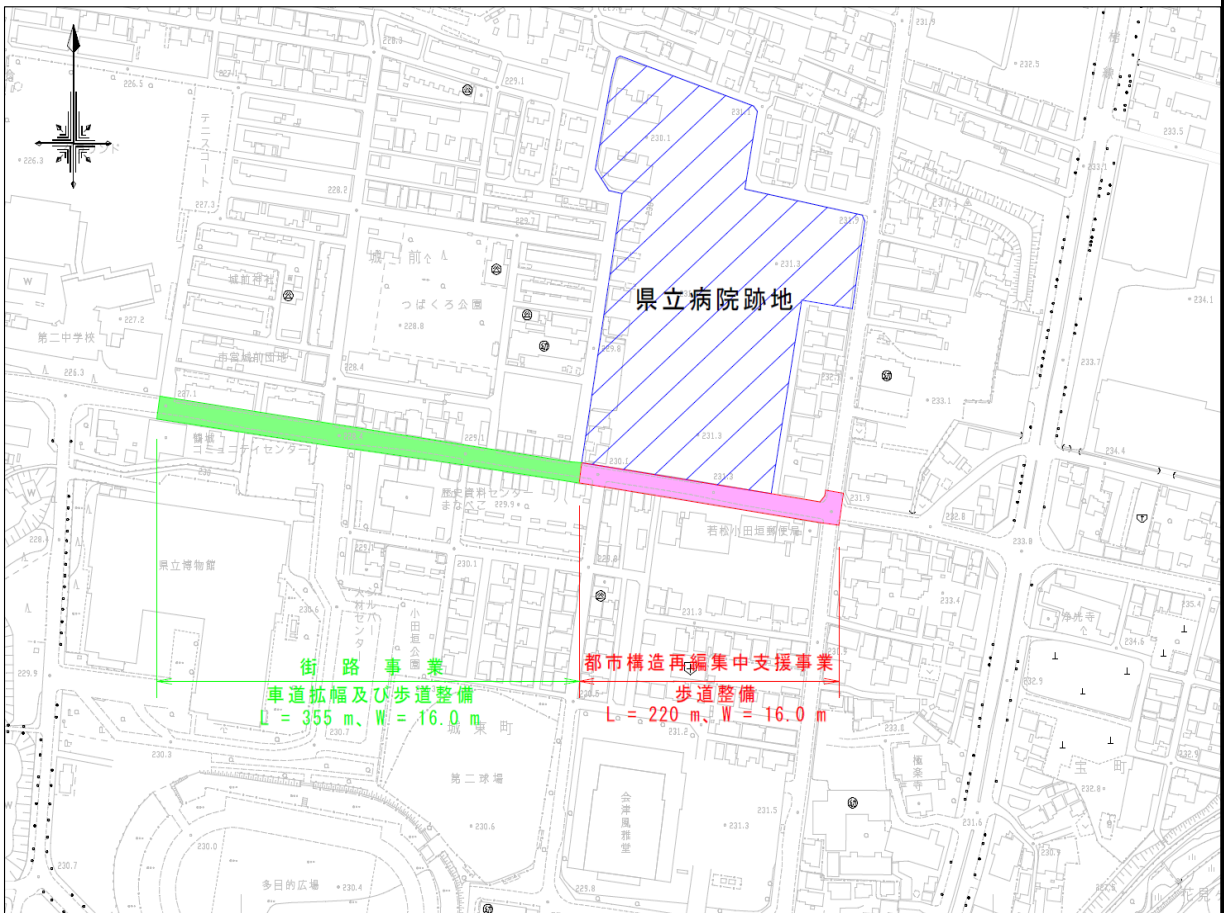
令和6年度は、街路事業として事業認可を得るため概略設計を実施した。令和7年度は、都市計画決定の変更及び事業認可申請を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度は、県立病院跡地南側の区間を都市構造再編集中支援事業として位置づけ、整備する見込み。

状況を示す写真や資料等



都市計画道路 藤室鍛冶屋敷線
概略計画図

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
美しい会津若松景観助成事業			
支援事業名	街なみ環境整備事業		
計画に記載している内容	歴史的景観指定建造物、景観まちづくり協定地区、景観重点地区(鶴ヶ城周辺地区)における修景及び公開空地の整備に対する支援を行うことで景観形成を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的景観指定建造物4件の修景に対する助成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、景観助成事業を通じて景観形成に向けた意識の醸成を図る。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後 (軒蛇腹・観音扉の修景)</p> </div> </div>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手

屋外広告物適正化推進事業

支援事業名 景観改善推進事業

計画に記載している内容
本市独自の屋外広告物等に関する条例(平成29年(2017)会津若松市条例第22号)の制定・施行に伴い、新たに既存不適格となる物件の撤去・改修等に要する経費の一部を助成することにより早期適正化を図り、良好な広告景観の形成を推進します。

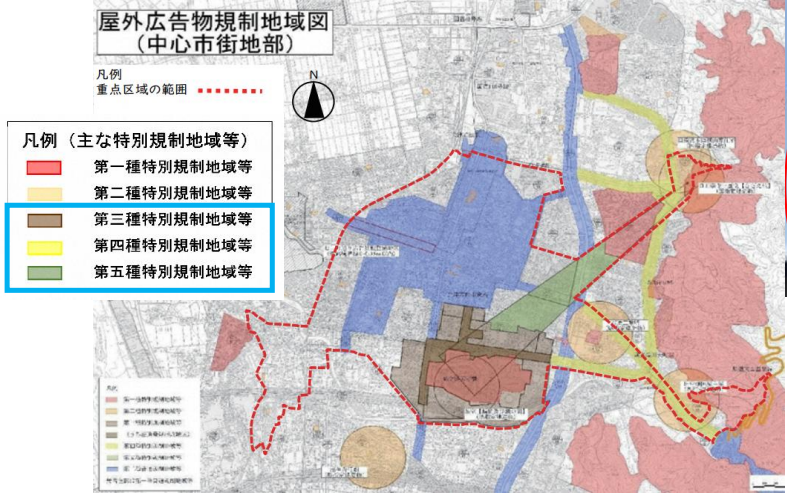
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市独自の屋外広告物等に関する条例(平成29年(2017)会津若松市条例第22号)の制定・施行に伴い、新たに第三種～第五種の特別規制地域が指定され、既存不適格となった47件の屋外広告物について、当該制度を活用するなどして、計45件が是正された。(是正率:約96%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
既存不適格となっている2件の屋外広告物の所有者等に対し、引き続き是正に向けた働きかけを行っていく。

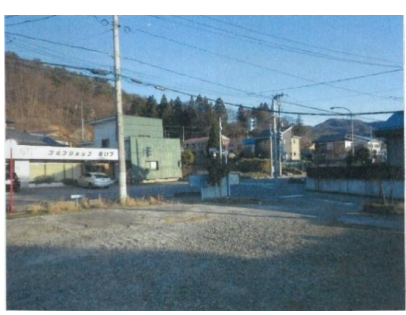
状況を示す写真や資料等



第5種特別規制地域
10mを超える位置に設置されている屋外広告物の撤去



撤去前



撤去後

第4種特別規制地域
自己用以外の屋外広告物の撤去

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
大好きな会津絵画コンクール事業			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	子供たちの景観に対する意識の醸成・向上を図るため、市内の小中学生を対象として実施しています。子供の頃の思い出は、まちなみや歴史的建造物、自然景観等と重ね合わせて心に刻まれており、それが自分の育ったふるさとへの愛着や景観に対する思いを呼び起こす契機となり得ることから、子供たちの自由な発想や柔軟な感性による絵画を通じて、景観形成に対する意識の高揚を市全体へ波及させます。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年7月22日～9月5日に市内の小中学校34校を対象として作品募集を行った結果、25校より計403点の応募があり、審査の結果、会津若松市長賞等13点を表彰し、29点を入選、361点を努力賞とした。 令和7年11月13日に表彰式を開催し、11月17日まで全応募作品の展示を行い、昭和8年に作成された鳥瞰図(デジタルアーカイブ)を用いることで、来場者の歴史まちづくりに対する興味、関心を惹く展示内容とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		今後も、入選者の各作品を用いたポストカードや電子データを作成・配布し、景観形成に向けた情報発信を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
令和7年度市長賞(小学生の部) 「会津若松市役所」		令和7年度市長賞(中学生の部) 「お屋どきの小田橋」	
			
令和7年度議長賞(小学生の部) 「花いっぱいにつるがじょう」		令和7年度議長賞(中学生の部) 「会津の始まり 十日市」	
			
デジタルアーカイブを用いた作品展示風景		表彰式風景	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

材木町団地建替事業	支援事業名 市単独事業
-----------	-------------

計画に記載している内容 施設の老朽化等に伴い、複合・集約を考慮した建替事業を想定し、官民連携手法の導入についても検討していきます。歴史を感じることでできる立地条件に配慮し、周辺景観と調和した計画を想定しています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・庁内の検討チームにおいて、他団地の建替事業の進捗を踏まえながら、PFI手法による団地整備を想定した事業スケジュールについて検討を進めている。
 ・R7年度は、前年度に引き続き、団地の現状や周辺の状況等を整理し、事業の方向性等を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備戸数の検討と合わせて、団地内のゾーニングについて検討を進めていく必要があるため、関係各所との協議が必要となってくる。
--	--

状況を示す写真や資料等

2) 材木町団地

①長寿命化計画上の位置付け

材木町団地については、令和元年度に実施した入居者アンケートの結果から現在地での需要が多いこと、一部借地はあるものの概ね市有地であること、公共交通機関や公益施設等が充実していることから、規模の縮小、また他団地の集約を検討することとし、建替団地に位置付けている。
 なお、材木町団地建替事業は、歴史的風致維持向上計画にも位置付けられており、周辺景観と調和した街並み形成に寄与する必要がある。

②建物の現状

材木町団地については、簡易耐火構造平家建ての公営住宅10棟25戸と中層耐火構造の改良住宅6棟144戸がある。
 簡平については、公営住宅法上の耐用年限(簡平:30年)を超過しており、老朽化が進むとともに、バリアフリー性や居住性等に課題を抱えている。また、借地の上に建っている一部の簡平は政策空家に位置付け、新たな入居者を募集していない。
 中層6棟のうち、耐震性に不安があるE棟を政策空家に位置付けており、その他の棟については団地として建替対象であることから、退去時の修繕を不要としている。
 なお、浴室がないA~D棟については、市でA棟10号に浴室を設置し、希望者が共同で利用できるようにしている。

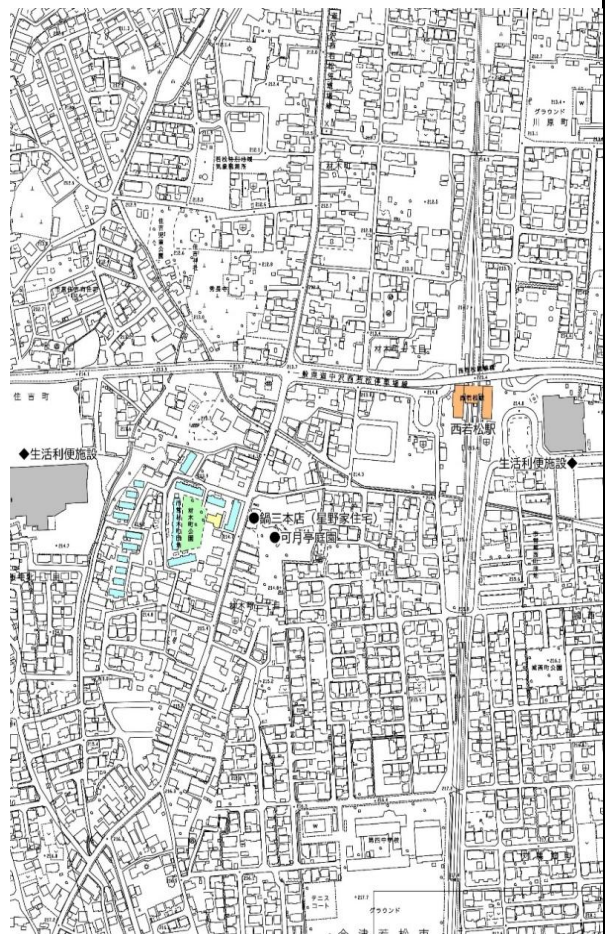
③入居者の状況

現在の入居戸数は、公営住宅が18戸(72%)、改良住宅が60戸(41.7%)であり、政策空家に位置付けた39戸のうち21戸(69.2%)が空家になっている。
 入居者の要望等により対象となる場合は、低層階や他団地への住替えを認めているが、移転補償を伴う住替えは行っていない。
 浴室がないことや入居者数が減り、町内会の活動にも支障があることから、早急な対応が求められている。

④敷地の概要

敷地は、JR西若松駅の南西部に位置し、敷地の東側を通っている一般県道中沢西若松停車場線(県道328号線)を経由して、他の県道などにアクセスしやすいだけでなく、最寄り駅であるJR西若松駅が500m圏内にある。
 また、付近には公共交通機関である電車やバスも通っており、認可保育所や若松第四中学校などの教育施設、スーパーマーケットやドラッグストアなどの商業施設も500m圏内に立地しているなど、子供から高齢者まで幅広い年齢層に対して良好な住環境が整備された利便性の高い場所になっている。

- ・所在地: 材木町二丁目166外15筆(借地含む)
- ・敷地面積: 10,116.10㎡(うち借地2,528.78㎡)
- ・用途地域: 第一種住居地域
- ・防火指定: 指定なし(建築基準法第22条指定区域)
- ・計画道路: 都市計画道路連座館寺線(幅員20m、4車線)
- ・その他: 洪水浸水想定区域(2~5m)



材木町団地 位置図

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

八葉寺阿弥陀堂周辺整備事業

支援事業名 歴史的観光資源高質化支援事業

計画に記載している内容 脈々と続けられてきた冬木沢参りの習俗は、仏都会津を象徴する仏教行事です。その舞台となる八葉寺阿弥陀堂周辺を整備することでさらなる魅力向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年12月より奥之院の整備に着手し、令和6年6月に完了した。
令和6年10月より、茶湯場、姥堂の整備に着手し、令和6年度末に完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和5年度より、奥の院、令和6年度より茶湯場、姥堂の整備を順次進め、完了した。

状況を示す写真や資料等

奥之院



施工前



竣工

茶湯場



施工前



竣工

姥堂



施工前



竣工

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
飯盛山墳墓域周辺整備事業			
支援事業名	地域の観光資源充実のための環境整備推進事業		
計画に記載している内容	飯盛山墳墓域周辺の参道や碑石類について、経年変化による歪み等も見受けられることから、継続的な整備を行うことで歴史的資源の魅力向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業主体である公益財団法人 会津弔霊議会と令和5年度に行った協議に基づき、安全措置に関する整備に対する国等の支援制度について研究及び要望を行ってきた。 飯盛山参道の石段は摩耗や欠損、段差の不均一化が進んでいることから、安全性向上と景観保全に向けて、観光庁の新たな補助事業の採択を受けるべく国への支援を要望しているところである。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		自己負担額が限られている現状において、効果的な進め方について優先順位等も含めて引き続き検討していく。	
状況を示す写真や資料等			
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 経年劣化が進んでいる飯盛山参道 </div>			

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

東山温泉街湯川周辺整備事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
東山温泉街は、中央を流れる一級河川の湯川を中心に栄えてきました。河川付近には温泉水用の配管等が露出し、良好な景観を阻害していることから、湯川周辺における景観改善を行うことで、美しい清流と調和した温泉街の景観形成を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年に認定された東山温泉街景観協定(景観条例に基づく任意協定)について、有効期間延長の手続きがなされ、引き続き景観整備に取り組んでいくことを確認した。東山温泉街活性化推進委員会が中心となり策定した「東山温泉地域景観創造ビジョン」に基づき、湯川周辺における修景整備に向けて、河川管理者である福島県(会津若松建設事務所長)に対し、河川の良い維持・管理(繁茂している植生の除去等)について要望を続けている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
河川の良い維持・管理に向けた要望と併せて、河川付近にある温泉水用の配管等の景観阻害要因の改善に対する対応策を引き続き検討していく。

状況を示す写真や資料等

東山温泉 ● 景観創造のコンセプト



- 東山温泉は、会津若松市の観光の基軸となる「鶴ヶ城」から車で数分の位置にある。
- 東山温泉は「会津若松市街観光の大きい目玉」としてのポジショニングを確立したい。
- そのためには、「湯町としてのしつらい(景色)」をしっかりと整えたい。

遊歩 YUHO

東山温泉は、街に流れる「湯川と橋」の趣に最も特徴があります。「会津の湯町」を探訪していただきたいという到達イメージをロゴ化しました。

東山温泉 ● 景観創造のための課題の整理

景観プランの柱となる湯川の景色。そこを軸とした課題解決をベースに温泉街全体の景観が整えられました。



東山温泉 ● 景観創造ビジョンアクションプラン 2つの柱

●ブランド戦略

現状の東山温泉は、お客様から見て、デザインや形が統一されておらず、「情緒や風情を愉しめる温泉街」にはなっていない。今後は「會いたい音」をさらに深め、デザイン・形を磨きかえることで、湯川の清流と川景色が持つ「山の緑」「川の青」「湯の香」など、本来の姿を取り戻す街づくりを推進して、ブランド力の向上を目指す。

●インフラの整備

東山温泉を象徴する景色を「湯川(鉢巻橋～芳輪橋)」に位置づけ、湯川の景色そのものを「おもてなしの風景」とする。そのために、橋や噴水及び街灯などのデザイン・形を統一し、柳や雑草・竹などの植樹などを施すことによって、宿泊客が往来し、賑わう場所を創り出す。又その間に、空き店舗や空き旅館の活用や撤去等を可能とするため、所有者の許可又は所有者不在となっている場合の権利関係の調査・整理を進め「石木屋界隈のファサード整備」や「空き旅館の撤去」を実施する。

「東山温泉地域景観創造ビジョン」



現状



イメージ案

湯川周辺の修景整備(案)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

会津若松駅中町線景観改善事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 十日市が開催される大町四ツ角及び野口英世青春通りにおいて、舗装の改良をはじめとする景観改善事業を実施し、ウォークアブルな街づくりを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

沿線建築物の景観改善事業を進めながら、舗装の改良の見直しについて検討を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

道路の美装化や冬期の消融雪の在り方を含め、国費を活用した事業としての位置付けの検討を行う。

状況を示す写真や資料等



都市計画道路 会津若松駅中町線
(野口英世青春通り)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

無電柱化事業(国道252号)

支援事業名 無電柱化推進事業費補助金

計画に記載している内容
 七日町通りにおいて景観阻害要因となっている電線、電柱について電柱類の無電柱化を実施し、街なみの景観の向上及び安全で快適な歩行空間の整備によりウォークアブルな街づくりを推進します。
 電線共同溝整備 L=960m 車道幅員 W=5.5m、歩車道幅員 W=10.0m

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

R6年度に無電柱化工事L=160m区間(上の区)に着手し、R7年度も引続き同区間を整備中。現時点の状況は次のとおり。全体延長960m(上・中・下の区合計)、無電柱化済区間235m(下の区)、電線共同溝工事完了済区間(電柱未撤去)40m(上の区)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光地での施工となるため、地元地区と綿密な調整を行いながら工事を進める必要がある。

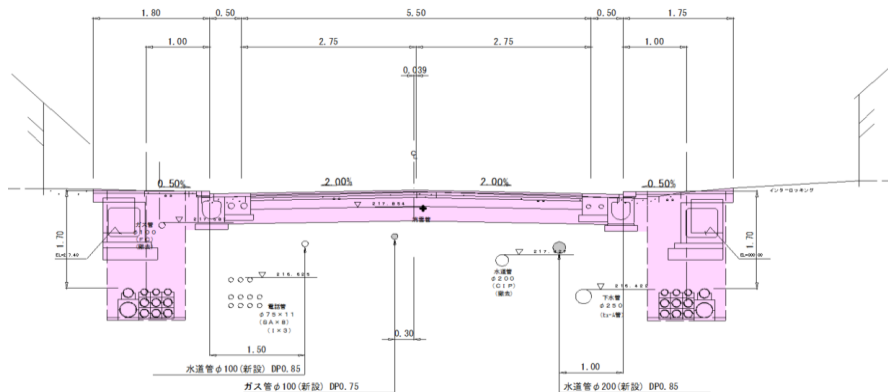
状況を示す写真や資料等



未整備区間状況



無電柱化済区間状況



標準横断面

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (2)歴史的な街なみ、景観に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
会津若松市景観計画に基づく景観重点地区に位置する県立病院跡地については、平成31年4月に策定した「県立病院跡地利活用構想」を踏まえながら、子供の屋内遊び場を核とした多世代交流施設の整備や、子育て支援等と親和性のある収益施設の設置などにより、子育て環境の充実と、賑わいの創出やまちづくりにつながる利活用を検討していきます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子どもの屋内遊び場を核とした公共施設の設置に向けて、公募型プロポーザルを実施し、令和7年8月に優先交渉権者を決定した。その後、令和7年12月には設計・建設工事請負契約を締結し、令和10年5月の供用開始に向けて取組を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) まずは、公共施設の先行整備に向けて取組を進めており、収益施設については、民間事業者と意見交換を継続しながら、公募の条件や時期を検討していく。
--	--

状況を示す写真や資料等

県立病院跡地利活用事業に係る優先交渉権者の決定について

令和7年1月14日に公告しました「県立病院跡地利活用事業」に係る公募型プロポーザルについて、令和7年7月に2グループから提案書類の提出がありました。これを受け、有識者等で構成する県立病院跡地利活用事業審査選考委員会(以下「選考委員会」という。)におきまして、提案内容の審査が行われ、令和7年8月6日に最優秀提案者が選定されました。

本市では、その結果を踏まえ、優先交渉権者を決定しましたので、次のとおり公表します。なお、選考委員会による審査講評については、後日公表します。

令和7年8月8日
会津若松市長 室井 照平

1 優先交渉権者
【受付番号72】

種別	企業名
代表企業	株式会社自井設計
構成企業	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
	学校法人白樺
	株式会社会津インターナショナルスイミングスクール
	会津土建株式会社
	株式会社アークズ会津
	株式会社日黒工業商会
	滝谷建設工業株式会社

2 次点交渉権者
【受付番号33】

3 総合評価点(100点満点)

受付番号	提案内容評価点	提案価格評価点	総合評価点
72	45.37点	20.00点	65.37点
33	60.53点	19.82点	80.35点

4 今後の主なスケジュール(予定)

スケジュール	タスク(最優秀提案の概要)
令和7年10月以降	基本契約の締結
令和7年12月以降	設計・建設工事請負契約の締結 ほか各契約の締結
(契約締結後～)	設計・建設着手
令和10年5月	供用開始

優先交渉権者の決定について

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (3)歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 会津若松市のシンボルである若松城を末永く保存整備するため、文化財の保存、史跡整備の見地から今後の復元を含めた方針と、その他造成、施設、修景、植栽、設備及び管理・運営など史跡内全体にわたった総合的な整備の計画を策定します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

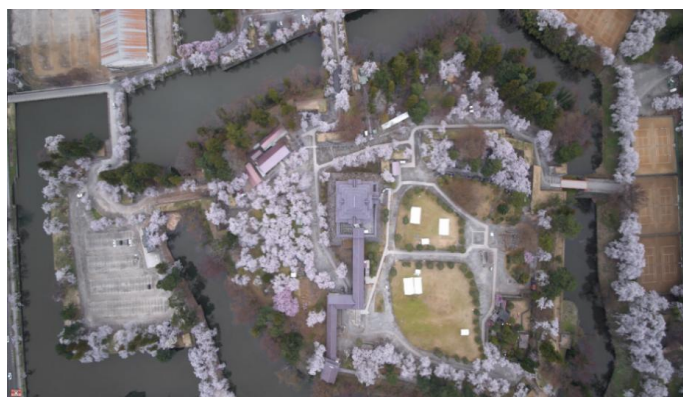
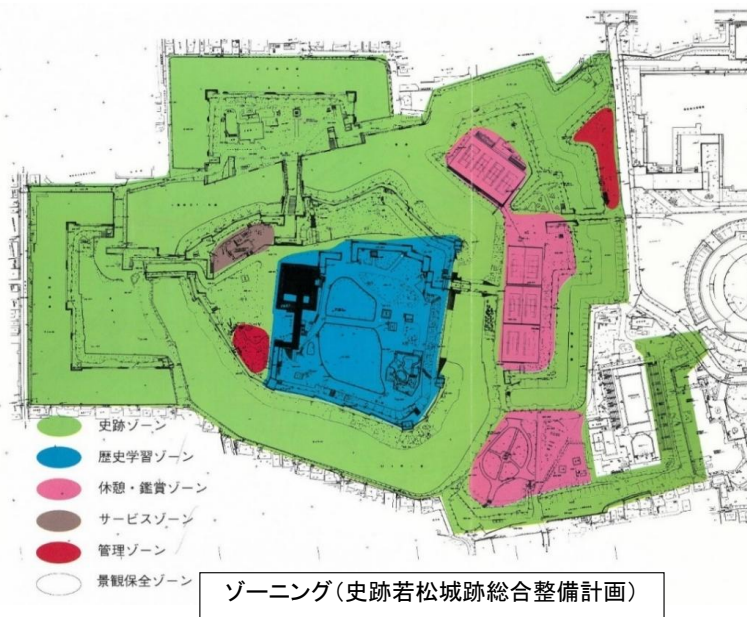
若松城天守閣入場者数(年度ごと)
 令和3年度 271,470人
 令和4年度 318,083人
 令和5年度 544,461人
 令和6年度 548,645人
 令和7年度 568,899人

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
 史跡若松城跡全体を、本市のシンボルとして市民一人ひとりに愛され、歴史と文化を継承する場として末永く保存するための整備していく。
 また、建造物の復元については、個別の基本計画を策定し進めていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (3)歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

史跡若松城跡総合整備計画事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
会津若松市のシンボルである若松城を末永く保存整備するため、文化財の保存、史跡整備の見地から今後の復元を含めた方針と、その他造成、施設、修景、植栽、設備及び管理・運営など史跡内全体にわたった総合的な整備の計画を策定します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化庁調査官より、史跡内の樹木整備及び、今後の史跡全体の整備に係る指導を受けた。
関係各課による協議を行い、各課における課題の共有を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

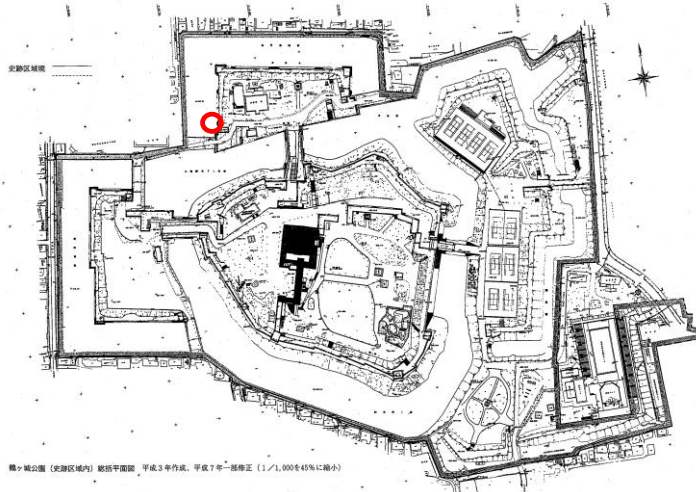
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

関係各課による協議を継続し、課題の抽出を図る。

状況を示す写真や資料等



文化庁調査官に指導を受けた
史跡内の危険木(一例)



鶴ヶ城公園(史跡区域内) 総括平面図 平成3年作成、平成7年一様修正(1/1,000を45%に縮小)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (3)歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用に関する事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

文化財保存活用地域計画推進事業

支援事業名 街なみ環境整備事業

計画に記載している内容 市指定史跡「天文台跡」の保存を図るとともに、市民や観光客が学習できる場となるよう周辺の整備・活用を進めます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「天文台跡」を保存・活用し、市民や観光客が学習できる場を整備するため、天文台跡南側隣地(359.16㎡)を取得した。(令和5年度天文台跡南側隣地取得、令和6年度天文台跡南側隣地整備)
取得した南側隣地の駐車場整備、案内板や休憩スペースの設置、ポケットパーク等の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

地域との意見交換会を行い、取得した南側隣地に駐車スペースや休憩スペースの設置、案内板の設置など、ポケットパーク的な整備を施行中。整備後の南側隣地の活用を図るべく引き続き地域との意見交換会を行う。

状況を示す写真や資料等

●文化財指定の状況

- ・指定年月日:昭和43年9月18日
- ・指定名称:天文台跡(会津若松市米代一丁目163)

●事業の実施状況

- ・事業対象:天文台跡南側隣地(359.16㎡)(会津若松市米代一丁目184番)



施工前



施工後

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (3)歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

鶴ヶ城公園整備事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 ・集中的なゲリラ豪雨に対して雨水排水対策を進めます。
 ・濠や石垣の保全を進めます。
 ・史跡保全のために、適正な樹木管理を進めます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、石垣に影響を及ぼしている支障木の伐採、石垣の除草、ずれや、抜け落ちのある石垣の間詰めを行った。
 (支障木伐採 N=3本、石垣除草 A=430㎡、石垣の間詰 N=5箇所)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度以降は、これまでの豪雨等の影響により、旧五軒丁濠に堆積した土砂の掘削を実施するとともに、洗堀防止のための園路舗装や雨水排水対策について調査・検討を進める。また、石垣の保全に必要な補修や除草、樹木の伐採等を行う。お濠については、引き続き水の循環による水質確保に努める。また、多目的広場の修景整備に向けて、調査・検討を進める。

状況を示す写真や資料等



豪雨時における園路の洗堀状況

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (3)歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用に関する事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

庁舎整備事業

支援事業名 街なみ環境整備事業

計画に記載している内容
 新庁舎(本庁舎)の整備
 ・本庁舎旧館棟を保存・活用します。
 ・本庁舎敷地に新庁舎を建設します。
 ・謹教小学校跡地の一部に駐車場・駐輪場を整備します。
 ・庁舎周辺道路を拡幅整備します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昭和12年に建築された地域の歴史的資産である本庁舎旧館を保存するとともに、同一敷地へ新庁舎を建設した。また、本庁舎敷地の周辺においては、雁木通路・駐車場等の整備や道路の拡幅整備も併せて実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

庁舎整備事業は完了するものの、本庁舎旧館をはじめとした庁舎等の活用や維持保全に務める。

状況を示す写真や資料等



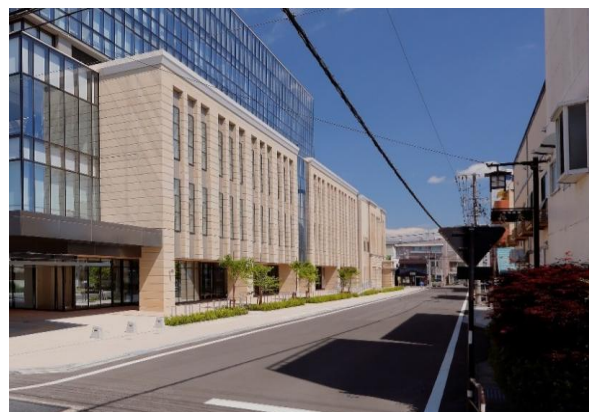
【本庁舎旧館】



【本庁舎】



【雁木通路・駐車場等】



【周辺道路】

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (3)歴史的風致の形成に関わる文化財等の保存・活用に関する事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

庁舎整備事業(庁舎整備発掘調査事業)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地である若松城郭内武家屋敷跡において、市役所本庁舎の建て替え工事が予定されているため、開発に先立ち遺跡の記録保存のための発掘調査を実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市役所本庁舎敷地南側の駐車場・雁木通路整備予定箇所が若松城郭内武家屋敷跡に含まれているため、開発に先立ち遺跡の記録保存のための発掘調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

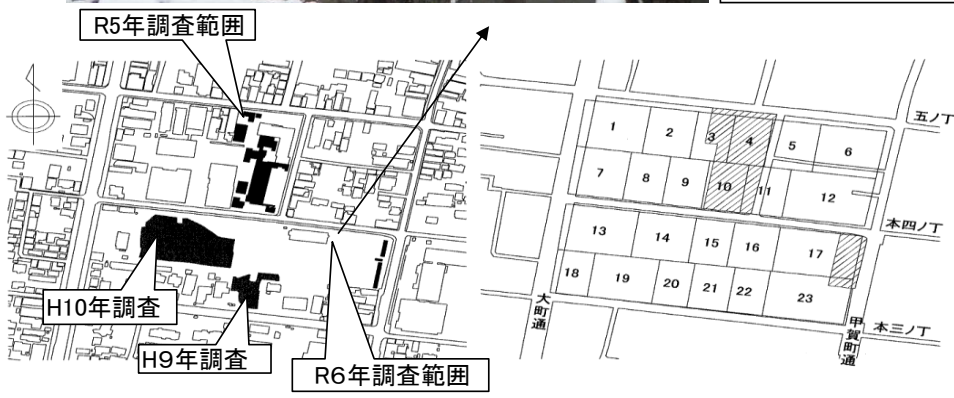
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和7年度は工事に合わせて立会のうえ記録した。

状況を示す写真や資料等



発掘調査終了時全景



- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 原田五郎(550石) | 13 高橋外紀(1350石) |
| 2 倉沢右兵衛(400石) | 14 長谷川五郎左衛門(350石) |
| 3 大場秀之助(250石) | 15 日向新六(120石) |
| 4 三井計之介(100石) | 16 高橋伴之助(250石) |
| 5 三宅真(350石) | 17 小池繁次郎(500石) |
| 6 日向茂太郎(300石) | 18 梶原主馬(300石) |
| 7 井深宅右衛門(550石) | 19 山内藏人(700石) |
| 8 名倉新兵衛(150石) | 20 安部井彦之進(250石) |
| 9 小池内蔵(130石) | 21 坂十郎(280石) |
| 10 遠山庸次郎(100石) | 22 諏訪数馬(200石) |
| 11 下平英吾(180石) | 23 田中藏人(550石) |
| 12 木村兵庫(500石) | |

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (4) 伝統行事や伝統技術等の文化に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

会津まつり支援事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

毎年9月下旬に、提灯行列、先人感謝祭、会津藩公行列、童子行列、鼓笛隊パレード、会津磐梯山踊りが3日間に渡り開催されます。
先祖への「鎮魂と感謝」、そして秩父宮雍仁(ちちぶのみややすひと)親王殿下と松平節子姫の御成婚により会津藩の復権が叶った「祝いと喜び」の精神を根幹に据えて後世に伝えていく市全体の統一祭です。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は9月19日から21日までの3日間にかけて開催。メイン行事である会津藩公行列は一般参加枠を拡充するなど、内容の充実を図って開催。一時雨天により二日目の会津磐梯山踊りを予定時間より早く切り上げたが、観客数は3日間を通して前年を上回り239,300人となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

運営団体や参加者の高齢化や減少により、まつりの担い手不足が課題となっていることから、まつりの新たな魅力を創出し、市民参加意識の造成や関係人口の拡大を図る。

状況を示す写真や資料等



◀ 本丸で執り行われる出陣式



◀ 拡大した枠に参加したツアーの皆さんと、城郭考古学者千田嘉博氏

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (4) 伝統行事や伝統技術等の文化に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

十日市支援事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 十日市は、400年以上続くともいわれる伝統行事で、古くから大町通りで行われてきた会津地方最大の初市です。大町四ツ角を中心に、大町通りや神明通り等において、風車や起き上がり小法師、市飴などの縁起物のほか、漆器などの伝統工芸品や飲食を扱う店が立ち並び、毎年多くの人々が来場する新年の風物詩です。現在は、十日市実行委員会の事務局である「会津若松市商店街連合会」が中心となり、関係機関が協力し、伝統を守りながら運営しています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

会津地方の伝統行事である十日市は、暴力団関係者の排除による「明るい十日市」をテーマに、市民手作りの商いの祭りとして定着している。毎年多くの来場者を集める当行事の効果は、極めて大きなものとなっている。令和6年度は前日から当日にかけて大雪に見舞われたが、予定通り開催することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

事業主体となる商店街関係者の減少、高齢化に起因する担い手不足等の問題がある。担い手の育成や関係団体との連携を図る。

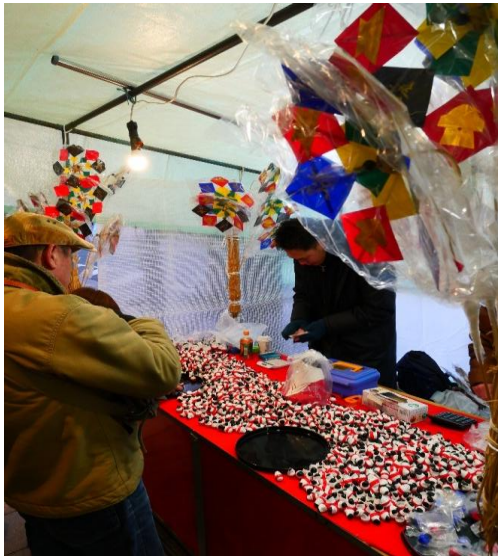
状況を示す写真や資料等

【令和6年度】

- 実施日 令和7年1月10日
- 出店者数
- ・出店件数 261件 ・マス数 313件 ・自店前 21件
- 来場者数 約10万人

【令和7年度】



- 実施日 令和8年1月10日
- 出店者数
- ・出店件数 231件 ・マス数 287件 ・自店前 15件
- 来場者数 約11万人



縁起物である風車、起き上がり小法師の販売


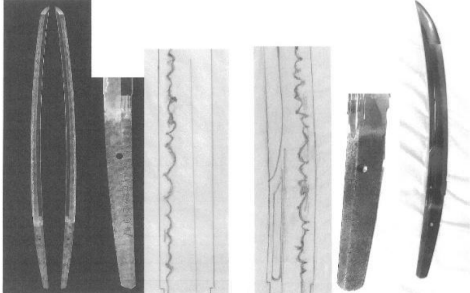

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針 (4) 伝統行事や伝統技術等の文化に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
特用林ウルシ樹育成事業			
支援事業名 福島県森林環境交付金			
計画に記載している内容	会津漆器の原材料となるウルシ樹の育成、管理を行います。 ・保育事業等の実施によるウルシ樹の適正な管理 ・ウルシ樹液の生産及び売り払い(会津漆器協同組合への供給)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
南原地区ウルシ樹植栽本数(令和7年度) 実績 50本/当初計画 50本 (累計) 実績2,500本/全体計画8,850本 金堀地区ウルシ液掻取り本数(令和7年度) 実績25本/当初計画25本 上記の他に、保育管理として植栽地の下刈や獣害防護柵の設置を行い、環境整備に努めた。 また、本事業により地元の高校生・短大生及び漆器技術後継者訓練校生など、若い世代がウルシへ携わる機会を創出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		会津産ウルシ液の安定的な生産と持続的な供給を図っていくため、計画的な植栽と環境整備を含めた適切な保育管理を継続していく。	
状況を示す写真や資料等			
令和7年7月18日 会津漆器技術後継者訓練生及び 会津漆器共同組合の組合員によるウルシ液の掻き取り、保育管理体験			
			
令7年11月7日 会津大学短期大学部学生、会津農林高校生徒による植樹体験			
			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
<p>市全体及び重点区域に関する事項 文化財の保存・活用の現況と今後の方針等</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
<p>計画に記載している内容</p>	<p>・本市の歴史資源については、各種審議会や専門機関等により、今後も継続的な調査を実施するとともに、市民や地域団体、地区の方々との連携や協働により、歴史資源の再発見や価値の把握を進めます。 ・令和4年7月に文化庁長官の認定を受けた「会津若松市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財の保存と活用にかかる諸施策を実施していきます。計画内では、指定文化財の保存・活用を推進するため、個別の保存活用計画の策定を進めることが位置付けられており、会津松平氏庭園(御薬園)、会津藩主松平家墓所(院内御廟)等について、令和4年(2022)度から検討を開始し、令和7年(2025)度に策定予定です。</p>		
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>			
<p>市文化財保護審議会等により、有形文化財3件(蓬莱山松竹梅鶴亀組盃(慶應二年銘)、刀・近江大掾藤原兼定、刀・角元興)の調査及び指定を行った。会津松平氏庭園(御薬園)の保存・活用を推進するための、会津松平氏庭園保存活用計画を策定した。また会津藩主松平家墓所(院内御廟)については、保存活用計画策定に向けて、アンケート調査や植生調査などを行い、整備指導会議において委員の意見を聴取しながら計画の検討を行った。</p>			
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p>		<p>実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</p>	
<p><input type="checkbox"/>計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</p>	<p>計画の作成については、文化庁より1自治体につき1計画ずつ進めることが望ましいとの指導を受け、松平家墓所の計画は令和8年度の策定を目標とし、令和6年度は基礎資料や歴史資料調査、問題点の抽出、アンケート調査の検討等を行った。</p>		
<p>状況を示す写真や資料等</p>			
			
		<p>R7.11.20市有形文化財指定 蓬莱山松竹梅鶴亀組盃(慶應二年銘) 刀・近江大掾藤原兼定 刀・角元興</p>	
		<p>会津松平氏庭園保存活用計画策定に係る指導会議(御薬園)</p>	
		<p>会津藩主松平家墓所整備指導会議において、保存活用計画に向けた検討を実施(令和7年11月25日)</p>	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
市全体及び重点区域に関する事項 文化財の修理(整備)に関する方針、文化財の防災・防犯に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の修理にあたっては、文化財としての価値や歴史の真正性を損なうことのないよう、文化庁をはじめ、県、学識経験者、専門員からの指導や助言を踏まえ、各関係者が連携した修理を行います。
- ・防火対策については、指定建造物に対しては、所有者や消防機関と連携して、防火査察や文化財防火デーでの火災防ぎょ訓練を実施します。(中略)防犯については、所有者や警察機関と連携した定期的なパトロール体制を強化し、文化財の管理、盗難・毀損などから守る防犯対策を実施し、効果的な防犯体制の構築に努めます。特にパトロールについては、市全域を13地区に分け、指定文化財や周知の埋蔵文化財包蔵地の定期的な現状確認や、犯罪の抑止力となるようパトロールを行います。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・県指定文化財「蒲生秀行廟」の茅葺屋根の茅の腐朽が進行していたことから、所有者や県等の関係機関と協議し、令和7～8年度にかけて、既存の茅葺を撤去し、野地を作り、維持管理のしやすい銅板葺に変更する保存修理工事を実施する。令和7年度については、既存の茅葺を撤去し、新しい屋根組を設置した。10月26日は現場見学会を行い、約30名の参加者が、桃山時代ないしは江戸時代初期の木造建築の遺構を間近に確認した。
- ・防火対策については消防署と協力して国・県指定文化財9箇所の防火査察を行い、国指定文化財延命寺地藏堂にて、文化財火災防ぎょ訓練を行った。また、民間有識者の中から委嘱した文化財パトロール員による、文化財の定期的な現状確認とその結果の情報共有を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度については、銅板葺き工事を実施する。
--	-------------------------

状況を示す写真や資料等



県指定文化財蒲生秀行廟保存修理工事
現場見学会 令和7年10月26日(日)
参加者約30名



防火査察
令和7年11月28日(金)
名勝会津松平氏庭園(御薬園)他、計9力所



文化財火災防ぎょ訓練
令和7年11月30日(日)
国指定文化財 延命寺地藏堂

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
市全体及び重点区域に関する事項 ・文化財の周辺環境の保全に関する具合的な計画 ・埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画 市道拡幅事業(城前団地発掘調査事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地である若松城郭内武家屋敷跡において、市道の拡幅工事が予定されているため、開発に先立ち遺跡の記録保存のための発掘調査を実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道拡幅箇所が若松城郭内武家屋敷跡に含まれているため、開発に先立ち遺跡の記録保存のための発掘調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度は、今年度調査地の近隣で発掘調査を行う。セーフティゾーンや既存の埋設管があり調査が行えない箇所は、工事の際に立会し、遺構が確認された場合は記録保存を行う。

状況を示す写真や資料等



- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 原田五郎(550石) | 13 高橋外記(1350石) |
| 2 倉沢右兵衛(400石) | 14 長谷川五郎左衛門(350石) |
| 3 大場秀之助(250石) | 15 日向新六(120石) |
| 4 三井計之介(100石) | 16 高橋伴之助(250石) |
| 5 三宅實(350石) | 17 小池繁次郎(500石) |
| 6 日向茂太郎(300石) | 18 梶原主馬(300石) |
| 7 井深宅右衛門(550石) | 19 山内蔵人(700石) |
| 8 名倉新兵衛(150石) | 20 安部井彦之進(250石) |
| 9 小池内蔵(130石) | 21 坂十郎(280石) |
| 10 遠山庸次郎(100石) | 22 藤訪数馬(200石) |
| 11 下平英吾(180石) | 23 田中蔵人(550石) |
| 12 木村兵庫(500石) | |

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
市全体及び重点区域に関する事項 ・文化財の周辺環境の保全に関する具合的な計画 ・埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画 都市計画道路整備事業(藤室鍛冶屋敷線発掘調査事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地である若松城郭内武家屋敷跡において、道路造成工事が予定されているため、開発に先立ち遺跡の記録保存のための発掘調査を実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画道路藤室鍛冶屋敷線の道路造成範囲が若松城郭内武家屋敷跡の埋蔵文化財包蔵地であるため、事前に遺跡の記録保存のための発掘調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

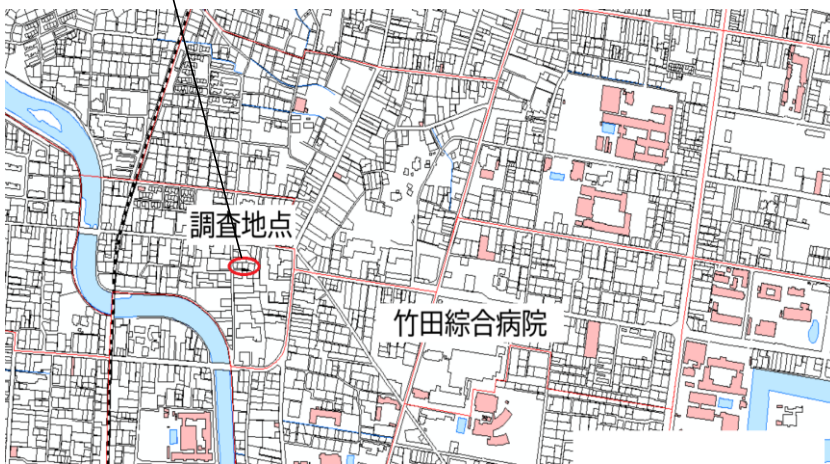
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

県道範囲は今年度で調査終了。

状況を示す写真や資料等



発掘調査終了時全景



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
市全体及び重点区域に関する事項 ・文化財の周辺環境の保全に関する具合的な計画 ・埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画 県立病院跡地発掘調査事業(試掘調査)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地である若松城郭内武家屋敷跡において、公共施設の整備が予定されているため、開発に先立ち遺跡の記録保存のための発掘調査を実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県立病院跡地で計画されている公共施設の整備範囲が、周知の埋蔵文化財包蔵地である若松城郭内武家屋敷跡に含まれていることから、開発に先立ち埋蔵文化財保護の協議資料を得るための試掘調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度は、公共施設整備範囲の本発掘調査(現地調査)を実施する。 令和9年度に、令和8年度調査の整理作業を実施し報告書を刊行する。
--	---

状況を示す写真や資料等



試掘調査状況

試掘トレンチ配置図



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	掲載紙等
北陸地方「道の駅 旅案内」まちづくり特集		令和7年4月	フリーペーパー 北陸地方「道の駅 旅案内」

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史まちづくり計画に関する記事掲載(フリーペーパー1件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史まちづくり計画に関連し、本市の景観施策について記事掲載等がなされた。

状況を示す写真や資料等

フリーペーパー「道の駅」掲載記事(1P)

北陸地方で配布されたフリーペーパー「道の駅」

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目	評価対象年度	令和7年度
----	--------	-------

歴史まちづくり計画に関連する事業等の情報発信

計画に記載
実施する事業は、歴史的風致を構成し、その維持及び向上に寄与するものとし、各種事業を重点的に展開する
している内容
ことで、その効果を市全域に波及するため効果的な情報発信等を行っていきます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・大好きな会津絵画コンクールで入賞した作品を絵葉書に作成し、会津若松市鳥瞰図に貼り付けて展示を行った。鳥瞰図は昭和8年に制作されたもので、現在と昔のまちなみの変化を比べることができる。(展示:大好きな会津絵画コンクール、絵画コンクール30回記念特別展示会、市民文化祭「ワイワイがやがやアート展」)
 ・国土交通省東北地方整備局において歴史まちづくり関連の情報発信を行っているInstagramに、定期的に市内の歴史まちづくり関連の写真等を提供し、情報発信を行った。
 ・歴史まちづくり計画を代表する歴史的風致を紹介するためのカード型パンフレットとして、「歴まちカード(歴史まちづくりカード)」を作成した。(令和5年9月23日より配布開始カード、種別:5種類、作成枚数:24,500枚、令和8年2月末現在の配布済み枚数:約17,277枚)
 ・歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催に併せて、景観形成に向けた意識の醸成を図ることを目的として、職員及び景観審議会委員、景観まちづくり団体の役員を対象とする歴史・まちづくり講演会を開催し、約60名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

カード配布をそれぞれの歴史的風致と関連する場所としたことで、歴史まちづくりの拠点を実際に巡る仕掛けとした。
 令和8年度は、歴まちカードの増刷を予定、また、市民を対象とする生涯学習出前講座「歴史まちづくりの取組み」を通し、市民への周知を図る。

状況を示す写真や資料等



大好きな会津絵画コンクール展示会



市民文化祭「ワイワイがやがやアート展」
会津若松市民文化センター(R7.11.22～11.30)



大好きな会津絵画コンクール30回記念特別展示



歴史・まちづくり講演会

会津若松市では、地域の歴史や文化を正しくまちづくり推進するため、令和5年3月に歴史まちづくり計画を策定し、令和7年6月に開催の予定を要請した。
 現在、歴史まちづくりに基づく会津の歴史や芸術文化は10館あり、国の支援を受けるなどして整備がすすんでいく見込みがあります。
 この度、令和7年度の歴史的風致維持向上計画推進協議会(歴史まちづくり協議会)の開催と併せて歴史・まちづくり講演会を開催しますので是非ご参加下さい。

日 期 令和8年3月18日(水)14:30～16:10(予定)
 場 所 会津若松市市民文化センター1階市民ホール1号
 その他 第1回終了後、第2回より自由に参加させていただきます。

第1部 令和7年度 会津若松市歴史的風致維持向上計画推進協議会
 ※協議会委員による会議となります

第2部 特別講演「歴史まちづくりに関する現在の状況」(14:30～15:00)
 講師 国土交通省 都市部公園課長 横尾 隆博 歴史文化推進課長
 古部 啓文文化庁 部長 藤田 浩

第3部 特別紹介「宇都宮市におけるソーシャルなまちづくり」(15:05～15:35)
 講師 宇都宮市総合企画課 企画 柳井 氏

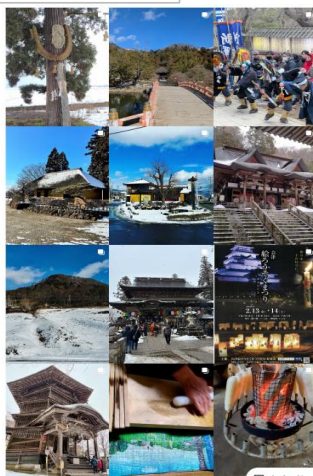
特別紹介「日本橋 持田の歴史文化まちづくり」(15:40～16:10)
 講師 東京大学総合プロジェクト推進 特任教授 横井 真 氏



歴史・まちづくり講演会のチラシ



とうほく歴まちある記(国土交通省東北地方整備局 Instagram)



評価対象年度	令和7年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 会津若松市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和8年3月18日(水)13:30～	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的風致維持向上計画の周知について <ul style="list-style-type: none"> (1) 歴まちカードの配布状況 (2) 歴まちカード配布に伴うアンケート結果 ● 計画に位置付けた事業の進捗等について <ul style="list-style-type: none"> <評価軸③-1: 屋外広告物適正化推進事業> (3) 終了とした事業の総括 ● その他(令和6年度推進協議会における各種意見への対応) <ul style="list-style-type: none"> <評価軸③-1: 計画に位置付けている25事業> (4) 施策の進捗状況が一目で分かる資料の提示 <評価軸③-1: 大好きな会津絵画コンクール事業> (5) 会津の良さを子ども達にどう伝えていくか考えるべき <評価軸⑥-1: 歴史まちづくり計画に関連する事業等の情報発信> (6) 歴まちカードに掲載している行事の開催日時の明記 	
(今後の対応方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的風致維持向上計画の周知について <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和8年2月末時点での配布状況としては、会津まつり6,183枚(7,553)、彼岸獅子1,999枚(2,251)、空也念仏踊1,415枚(1,532)、白虎隊剣舞3,252枚(3,645)、東山芸妓4,428枚(4,650)の合計17,277枚(19,631)であり、会津まつりと東山芸妓のカードを多く配布している。※()内の数字は令和8年5月末時点 (2) アンケート回答者346名の結果より以下の結果が得られた。 来訪者の属性: 回答者の93%が福島県外居住者であり、広域観光の誘引ツールとして機能している。 満足度と課題: 景観満足度は「とても良い」「良い」で99%を占める一方、景観を損ねる要因として「放置された空き家(37%)」や「電柱・電線(25%)」が挙げられる。 ● 計画に位置付けた事業の進捗等について <ul style="list-style-type: none"> <評価軸③-1: 屋外広告物適正化推進事業> (3) 屋外広告物条例に基づく是正指導の結果、既存の不適合物件の96%において適正化を達成した。この顕著な成果は、認定都市の特権である「景観改善推進事業」等の助成メニューを活用し、民間事業者の負担を軽減しながら法的遵守を促した成果と認識している。 ● その他(令和6年度推進協議会における各種意見への対応) <ul style="list-style-type: none"> <評価軸③-1: 計画に位置付けている25事業> (4) 施策の進捗状況をバーチャートでグラフ化した資料を提示した。 <評価軸③-1: 大好きな会津絵画コンクール事業> (5) 入賞者全員に題材とした景観への思いを作文していただき、絵画作品と併せて展示したことで子どもから大人までが景観について考える機会を創出した。 <評価軸⑥-1: 歴史まちづくり計画に関連する事業等の情報発信> (6) 歴まちカードの増刷時に、掲載している行事の開催日時を新たに明記した。 	